

上毛三山の登山報告

日本大百科全書（小学館）によれば、上毛三山とは、群馬県にある赤城山（1828m）、榛名山（1449m）、妙義山（1104m）の三つの山をいう。上毛とは、古代に群馬県を上毛野国（かみつねのくに）といった古語から出た地名で、上州（群馬県）という呼称とともに用いられる。いずれも那須火山帯の火山で、赤城山と榛名山はともに雄大な二重式円錐火山で広い裾野をもち、妙義山は開析が進み変化に富んだ奇岩の山である。群馬県のシンボルとして県民にたいへん親しまれ、いずれも県立公園になっている。

なお、開析（かいせき）とは、一定の連続性を有していた地形面が、侵食などの影響により多くの谷が形成され、地形面が細分化される事象。

妙義山(白雲山)縦走

日程 2010年10月11日(月) 天候 晴れ

行程 妙義神社6:25 - 大の字7:20・7:30 - 奥の院7:45・7:55 - 見晴8:20 - 大のぞき8:55・9:05 - 天狗岩9:30 - 丸つき沢分岐9:50 - 相馬岳10:05・10:15 - 掘切10:40・10:45 - 中間道合流12:05 - 第四石門12:35・12:45 - 第三石門13:05 - 第二石門13:20 - 第一石門13:35 - 妙義山登山道入口の休憩所13:40・13:55 - 大人場14:15 - 舗装道路に合流14:25 - 道の駅14:50 (全行程8時間25分)

朝陽に映える白雲山



妙義神社



鎖場が続く



相馬岳頂上から金洞山を望む



岩をくり抜いて作られた中間道



大砲岩から白雲山を望む



赤城山

日程 2010年10月24日(日) 天候 晴れ

行程 ビジターセンター 赤城神社 黒檜山 駒ヶ岳 ビジターセンター

先日、妙義山に登ったが、そのとき、北方向に見える榛名山も訪れてみたいと思った。そこで、紅葉見物も兼ねて、急きょ上毛三山と呼ばれている妙義山以外の赤城山と榛名山を一日で登る計画を立てた。

赤城山は国定忠治の映画を見て、子供の頃から慣れ親しんだ山の名前である。なお、今回初めて知ったが、赤城山は日本100名山に名を連ねていた。さらに、これも知らなかったが、赤城山や榛名山という名前の山頂は存在しない。それぞれいくつかのピークを合わせた総称であることを知った。この点は妙義山も同じである。そこで、妙義山同様、すべてのピークに登ることは無理なので、代表的なピークとコース取りを行なうことにした。

午前中の10時半ぐらいまでに、赤城山の登山を終えてしまえるように、行程は、ビジターセンターを起点に赤城神社に寄り、その後、黒檜山から駒ヶ岳を經由してビジターセンターに降りる計画にした。7時にビジターセンターを出発して戻るまでの歩行時間はちょうど3時間であった。1000m近辺の紅葉の見ごろは10月中旬頃であるが、残念ながら今年の紅葉はあまり綺麗ではなかった。



ビジターセンター



赤城神社



黒檜山



黒檜山登山道から大沼を見下ろす



駒ヶ岳

榛名山

次に向かった榛名山は、榛名山外輪山の中では掃部ヶ岳に次ぎ2番目に高い山である相馬山と榛名富士に登った。なお、榛名山は日本200名山に指定されている。

まず最初は、相馬山に登った。コースはヤセオネ峠に車を駐車し、関東ふれあいの道を経由して山頂に至り、同じコースを下山した。途中に長いハシゴ場があったりしてそれなりに面白かった。山頂には黒髪神社があり、ほかに石祠・石碑・石像などが多数並んでおり、信仰の山になっていた。往復1時間程度であった。

行程 ヤセオネ峠(15分) 相馬分岐(20分) 相馬山(20分) ヤセオネ峠



相馬山登山口



途中の祠



相馬山山頂

続いて、榛名富士に向かった。登山コースは「ゆうすげ元湯」から、南西の「ビジターセンター」側に降りる周回コースを選んだ。こちらの実質歩行時間は1時間20分であった。

榛名富士は、頂上までロープウェイが運行されているため、多くの人で賑わっていた。山頂からの展望は良好、眼下のビジターセンターや先に登った相馬山が展望できた。

下山後、「ゆうすげ元湯」で汗を流し、すっかり夕闇に包まれてしまった榛名神社に参拝してから帰路を急いだ。

行程 ゆうすげ元湯(40分) 山頂(20分) ビジターセンター(20分) ゆうすげ元湯



ゆうすげ元湯からの登山口



山頂にある富士山神社



ロープウェイ山頂駅



相馬山





榛名山登山マップ

